

出前講座プログラム（例）

古地図から中山道を歩こう

◇ねらい：江戸時代に描かれた古地図から中山道をたどる作業を通して、中山道の宿場町や当時の道路や村について理解を深めることができる。

◇対象：小学生4～6年生（1学級）

◇所要時間：45～60分

◇講師：岐阜県図書館郷土・地図情報係職員

◇費用：なし

活動展開例	備考
<p>1 地図の歴史について理解する。 （行基図、オリテリウス日本図、ポルトラーノ日本図、伊能図）</p> <ul style="list-style-type: none">• 一つの国（今の都府県）を丸で表している。• 北海道、沖縄県が描かれていない。• 九州、四国、本州は何となく分かる。• 伊能忠敬になると海岸線などがしっかり描かれ、現在の地図に近くなっている。 <p>*古地図への興味関心を高める。</p>	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none">• 古地図の複製を実際に見せ、年代ごとの変化について説明する。
<p>2 古地図を使って中山道を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none">*中山道の宿場町を「細見美濃国絵図」を使ってたどる。*宿場町を線でつなぎ、中山道を確認する。• 江戸時代の頃は、こんなところに道路があったんだ。• 昔は今と違って、道路の数が少なく、限られていた。 <p>3 様々な古地図から、江戸時代における街道の役割について理解する。 （「中仙木曾道中図」「和宮様御下向御固」「木曾路名所一覧」）</p> <ul style="list-style-type: none">• 道中図は、今のガイドブックみたいだ。• 和宮が通った時は、本当に大変だった。	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none">• 岐阜県の中山道の宿場町を表したプリントを提供する。 <p>【講師、担任等】</p> <ul style="list-style-type: none">• 宿場町を見つけにくい児童を補助する。
<p>4 わかったこと等を感想用紙に記入し、地図を通して体験したことをまとめる。</p> <ul style="list-style-type: none">• 地図にはたくさんの情報がある。昔から地図が描かれていることがわかった。• 中山道についてくわしく分かった。もっと深く身近な地域について調べてみたい。	<p>【講師】</p> <ul style="list-style-type: none">• 感想をもとに、地図の魅力について話す。• さらに深く調べるための手段や方法をアドバイスする。

～活動を計画するにあたって～

- 資料は岐阜県図書館で用意します。必要な枚数を事前に伝えてください。
- 活動に必要な用具は各自で用意してください。
 - 筆記用具
 - 色鉛筆（色ペン）